

ゴマダラチョウ

Hestina japonica

種名



分類	タテハチョウ科												
形態	前翅長 35～50mm。オオムラサキより小さく、黒褐色と白色のまだら模様。春型は白色部が広い。はより黒褐色部が淡く、翅型が広い。												
分布	北海道(中～南部)、本州(佐渡島を含む)、四国、九州(対馬を含む)。												
出現期	暖地では年2～3回の発生、5～9月に見られる。寒冷地では年1回、7～8月に羽化する。北海道でもまれに、9月に2化目が羽化する年がある。3～4齢幼虫で越冬する。												
生態	低地の雑木林に棲み、市街地にも見られる。クヌギなどの樹液、腐果で吸汁したり、地上で吸水する。												
食樹	ニレ科のエノキ、エゾエノキ(寒冷地)。												
幼虫 (幼生期)	体長40mm。緑色で、頭部に一对、胴部に三対の突起をもつ。												
出現時期	(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	-	-	-
その他													
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ													